

# 環境経営レポート

2022年度（2022年4月～2023年3月）



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号0001046

 **永大化工株式会社**

〒547-0041  
大阪府大阪市平野区平野北2-3-9  
TEL 06-6791-3355  
FAX 06-6791-7121

発行：2023年7月

# 環境経営方針

永大化工（株）はプラスチックに携わる企業としての責任を自覚し、企業活動と地球環境の調和を目指し、資源の保護、並びに環境汚染防止を推進し、環境保全活動の質的向上を継続的に進めていきます。

## 環境経営活動方針

当社の事業活動及び製品、サービスにおいて環境に与える影響を認識、評価し、下記の方針を定め、全従業員に周知し、全員参加で取り組む事とする。

1. 地球温暖化防止の為、二酸化炭素の排出量を削減する。
2. 持続可能な社会の為の省資源を目指した製造、販売プロセスの構築及び節水に努める。
3. 全部門において、循環型システムを開発し、廃棄物削減を進める。
4. 化学物質の適正管理に努める。
5. 環境に関する法規制及び行政の環境施策を厳守し、環境保全に努める。
6. 地域社会の環境保全に貢献出来る職場環境作りを目指す。
7. 環境経営システムの継続的改善に努める。

制定：2019年6月28日

改定：2023年4月1日

代表取締役社長

浦 義則

## 1. 事業所の概要

### (1) 事業者名及び代表者名

永大化工株式会社 代表取締役社長 浦 義則

### (2) 所在地

本 社 〒547-0041 大阪市平野区平野北2丁目3-9

奈良事業本部 〒639-0261 奈良県香芝市尼寺408

(小林倉庫) 〒639-0264 奈良県香芝市今泉4-1

天理事業本部 〒632-0063 奈良県天理市西長柄町688

栃木事業本部 〒322-0302 栃木県鹿沼市深程東山990-12

(大平工場) 〒329-0264 栃木県栃木市大平町西水代2737

### (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者： 総務部長 徳岡 幹裕 TEL： 06-6791-7753

担当者： 総務部総務課 植野 直彦 TEL： 06-6791-7753

### (4) 事業内容

- ・自動車用フロアマットの開発、製造及び販売
- ・合成樹脂異形押出成形品の開発、製造及び販売

### (5) 事業の規模

製品出荷額： 82.9 億円／2022 年度

全従業員： 165 人／2022 年 4 月 1 日現在

対象従業員： 165 人／2022 年 4 月 1 日現在

	本 社	奈良事業本部 (小林倉庫含む)	天理事業本部	栃木事業本部
従 業 員 数	21	81	39	24
述 べ 床 面 積	1,112 m <sup>2</sup>	6,960 m <sup>2</sup>	6,705 m <sup>2</sup>	6,438 m <sup>2</sup>

### (6) 事業年度

2022年4月～2023年3月

## 2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 永大化工株式会社

対象事業所： 本社・奈良事業本部・天理事業本部・栃木事業本部

活 動： 本社 経理・総務・輸出入手続

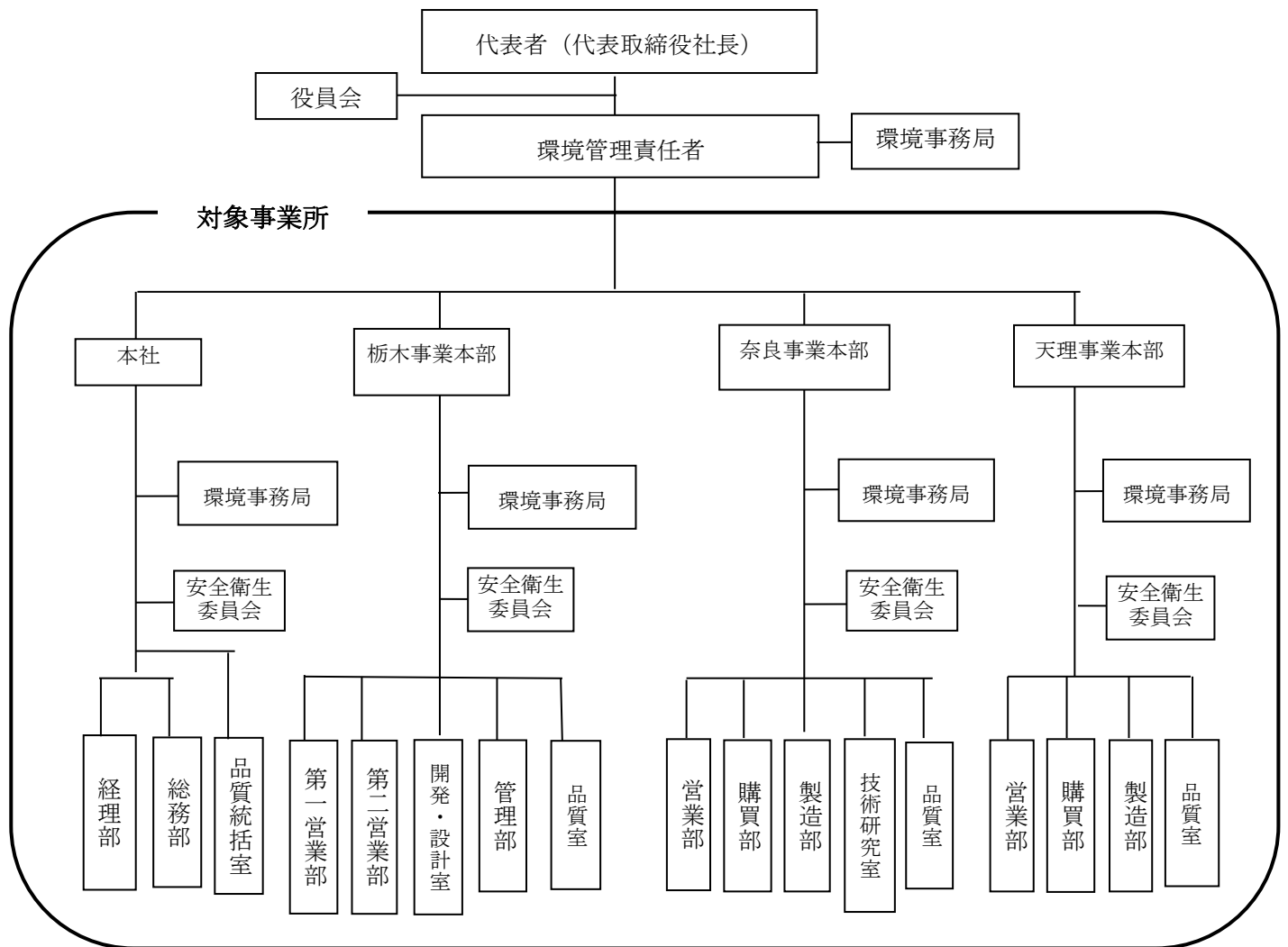
奈良事業本部 自動車用フロアマットの開発、製造及び販売

天理事業本部 合成樹脂異形押出成形品の開発、製造及び販売

栃木事業本部 自動車用フロアマットの開発、製造管理及び販売

合成樹脂異形押出成形品の開発、製造管理及び販売

## 環境経営システム組織図



### 3. 主な環境負荷の実績（2022年度）

各事業所における主な環境負荷の実績は次のとおりです。

項目	単位	本社		奈良		天理		栃木	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
二酸化炭素排出量	kg-CO2	19,062	17,466	231,902	147,839	231,358	388,322	51,087	163,592
廃棄物排出量	kg	1,223	1,062	140,340	103,021	6,117	9,818	26,107	38,860
産業廃棄物排出量	kg	0	0	135,633	98,949	5,760	9,000	25,970	38,730
一般廃棄物排出量	kg	1,223	1,062	4,707	4,072	357	818	137	130
総排水量	m <sup>3</sup>	230.30	207.00	1,088	1,398	1,120	1,721	314	794

項目	単位	全体(本社・奈良・天理・栃木)				
		基準年 (2018)	目標 (2022)	実績	目標との差	目標 (2023)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	549,214	533,409 (△2.88%)	717,199	183,790.00	529,459 (△0.74%)
廃棄物排出量	kg	177,464	173,787 (△2.07%)	152,761	△21,026	172,868 (△0.53%)
産業廃棄物排出量	kg	170,901	167,363 (△2.07%)	146,679	△20,684	166,479 (△0.53%)
一般廃棄物排出量	kg	6,563	6,424 (△2.12%)	6,082	△342	6,390 (△0.53%)
総排水量	m <sup>3</sup>	2,832	2,752.3 (△2.81%)	4,120	1,367.7	2,732 (△0.73%)

以下、各事業本部に分けて記載します

#### 4. 環境経営目標とその実績(本社)

本社における環境経営目標と実績は次のとおりです。

項目		年度	2018年 (基準年)	2022年		2023年
				(目標)	(実績)	(目標)
二酸化炭素排出量		総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	19,451	19,062 (△2.0%)	17,446 (△10.3%)	18,965 (△2.5%)
内 訳	電力の 省エネ	使用量 (kWh)	48,292	47,326 (△2.0%)	47,445 (△1.8%)	47,085 (△2.5%)
	ガソリンの 削減	使用量 (L)	1,016	996 (△2.0%)	1,152 (+13.4%)	991 (△2.5%)
	都市ガスの 削減	使用量 (Nm <sup>3</sup> )	44.00	43.12 (△2.0%)	17.00 (△61.4%)	42.9 (△2.5%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	1,248	1,223 (△2.0%)	1,062 (△14.9%)	1,217 (△2.5%)
産業廃棄物排出量		総量 (kg/年)	0	0	0	0
一般廃棄物排出量		総量 (kg/年)	1,248	1,223 (△2.0%)	1,062 (△14.9%)	1,217 (△2.5%)
水道使用量		総量 (m <sup>3</sup> /年)	235	230.30 (△2.0%)	207.00 (△11.9%)	229.1 (△2.5%)

電力のCO<sub>2</sub>変換係数は、2021年関西電力の係数(0.311kg-CO<sub>2</sub>/kwh※調整後)を用いて算出。

※基準年を2018年に設定いたします。

※表中の削減率( )内の表記は、基準年の数値を基に算出しております。

## 5. 環境経営活動の取り組み計画と評価（本社）

「5%以上削減：◎良く出来た」

「1%以上削減：○まあまあ出来た」

「0.5%以上削減：△あまり出来なかった」

「0.5%未満削減：×全く出来なかった」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
<p>1. 電力の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不要時の消灯</li> <li>・ 空調温度の適正化</li> <li>・ 不要設備の電源OFF</li> <li>・ 照明器具の効率化</li> </ul>	○	<p>目標 : 47,326 kWh            実績 : 47,445 kWh            達成率: 87.7%            基準年度比 1.8%削減            新型コロナウイルス感染症の減少傾向に伴い、営業活動再開が本格化。それに伴う照明並びに空調使用の増加により年度目標は未達。            次年度は目標達成を目指す。</p>
<p>2. ガソリンの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイドリングストップ</li> <li>・ 急発進・急ブレーキの抑制</li> <li>・ オンライン会議の利用</li> </ul>	×	<p>目標 : 996 L            実績 : 1,152 L            達成率: △680%            基準年度比 13.4%増            新型コロナウイルス感染症の減少傾向に伴い、営業活動再開が本格化。それに伴う人員移動がオンライン会議等の併用をもってしてもカバーできず目標未達。            今後は省エネ車などへの更新も検討予定。</p>
<p>3. 都市ガスの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ EA21 への取組周知</li> <li>・ 機器更新検討</li> </ul>	◎	<p>目標 : 43.12 m<sup>3</sup>            実績 : 17.00 m<sup>3</sup>            達成率: 3,068.2%            基準年度比: 61.4%削減            ガスコンロから IH コンロへの置き換え、ならびに昼食時の給湯取りやめによる。            年度目標達成。</p>
<p>4. 一般廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミの分別回収</li> <li>・ 資料の電子化</li> <li>・ 会議資料や事務書類の簡素化</li> </ul>	◎	<p>目標 : 1,223 kg            実績 : 1,062 kg            達成率: 744%            基準年度比: 14.9%削減。            前年度からの取組が継続されており、年度目標も達成。            今後もサーバー利用を進め、ペーパーレス化を推進する。</p>

・両面印刷の徹底		
5. 節水	◎	目標 : 230.30 m <sup>3</sup> 実績 : 207.00 m <sup>3</sup> 達成率 : 595.7% 基準年度比 : 11.9%削減 節水意識の徹底により今後も無駄のない状況を継続していく。
・節水運動		

## 6. 環境関連法規制等の順守状況（本社）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
消防法	自火報、排煙設備、消火器
フロン排出抑制法	業務用空調機（10.1kw×1台、7.2+4.5kw×1台）
廃棄物処理法	一般廃棄物
家電リサイクル法	業務用 PC×20 台
下水道法	水道設備全般

## 7. 環境関連法規制等順守状況の評価結果（本社）

環境関連法規制等の遵守状況の評価結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

また、過去に関係当局からの違反などの指摘はありません。

## 8. 管理者による全体の評価と見直し（本社）

「ガソリンの削減」に関しては事業活動の影響もあり使用料増加により目標未達となったが、それ以外の取組みでは概ね目標を達成することができた。

今後も継続的に目標を達成するために、業務フローや仕組みの見直し、機器の更新等、社員一人ひとりが様々な工夫を行うことにより各管理項目の削減を実現していただきたい。

## 9. 環境経営目標とその実績（奈良事業本部）

当事業本部における環境経営目標と実績は次のとおりです。

項目		年度	2018年 (基準年)	2022年		2023年
				(目標)	(実績)	
二酸化炭素排出量		総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	236,635	231,902 (△2.0%)	147,839 (△37.5%)	230,719 (△2.5%)
内 訳	電力の 省エネ	使用量 (kWh)	591,431	579,602 (△2.0%)	410,956 (△30.51%)	576,645 (△2.5%)
		生産量あたり 使用量 (kWh/m <sup>2</sup> )	2.413	2.365 (△2.0%)	5.038 (+108.79%)	2.352 (△2.5%)
	ガソリンの 削減 (営業部)	使用量 (L)	4,015	3,935 (△2.0%)	3,170.21 (△21.04%)	3,915 (△2.5%)
	ガソリンの 削減 (技術開発室)	使用量 (L)	691	677 (△2.0%)	328.78 (△52.42%)	674 (△2.5%)
	ガソリンの 削減 (製造部)	使用量 (L)	2,440	2,391 (△2.0%)	2,420 (△0.82%)	2,379 (△2.5%)
	軽油の 削減	使用量 (L)	4,447	4,358 (△2.0%)	2,323 (△47.76%)	4,336 (△2.5%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	143,204	140,340 (△2.0%)	103,021 (△28.06%)	139,624 (△2.5%)
産業廃棄物排出量		総量 (kg/年)	138,401	135,633 (△2.0%)	98,949 (△28.51%)	134,941 (△2.5%)
一般廃棄物排出量		総量 (kg/年)	4,803	4,707 (△2.0%)	4,072 (△15.22%)	4,683 (△2.5%)
総排水量		総量 (m <sup>3</sup> /年)	1,110	1,088 (△2.0%)	1,398 (+25.95%)	1,082 (△2.5%)
LPG の削減		総量 (kg/年)	131.7	129 (△2.0%)	102.47 (△22.19%)	128.4 (△2.5%)

電力のCO<sub>2</sub>変換係数は、2021年度関西電力の係数（0.311kg-CO<sub>2</sub>/kwh※調整後）を用いて算出。

上記の環境経営目標のほか、以下の取り組みを推進する。

② グリーン購入の推進・・・リサイクル材への切替え、データ収集の計画。

② 有害化学物質の適正管理・・・顧客要求に伴うMSDSの入手と保管

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の環境経営目標を含め改訂する事もあります。

※2018年に拡大審査にて本社を含めたため、2019年度より基準年を2018年に変更いたします。

※表中の削減率（ ）内の表記は、基準年の数値を基に算出しております。



## 10. 環境経営活動の取り組み計画と評価（奈良事業本部）

「10%以上削減：◎良く出来た」

「5%以上削減：○まあまあ出来た」

「1%以上削減：△あまり出来なかった」

「1%未満削減：×全く出来なかった」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
1. 電力の削減	◎	<p>目標：579,602 kWh（基準年度比△2.0%）            実績：410,956 kWh            達成率：1,525.70%            基準年度比：30.51%削減達成。</p> <p>来期は電力消費量の15%を占めるB工場押出機、ハイペレッター設備の消費電力を考慮した生産予定立案を行い、効率的な使用を目指し消費電力削減を継続する。            来期節電ユニット導入で予算計上。</p>
・不要時の消灯		
・空調温度の適正化		
・不要設備の電源OFF		
・ムリムラムダを排除した生産管理		
・照明器具の効率化		
2. ガソリンの削減（営業部）	◎	<p>目標：3,935 L（基準年度比△2.0%）            実績：3,170.21 L            達成率：1055.99%            基準年度比21.04%削減達成。</p> <p>3月は外部での給油が多く、集計元の阪本石油での給油が少なく参考値とならない。            通期を通しては約半分の6ヶ月平均燃費で目標を超える事が叶わず。使用者の意識改革が必要。            来期事業所初のHV車導入で予算計上。</p>
・アイドリングストップ		
・急発進・急ブレーキの抑制		
・冷房の控え目使用		
3. ガソリンの削減（開発部）	◎	<p>目標：677 L（基準年度比△2.0%）            実績：328.78 L            達成率：2,587.29%            基準年度比52.42%削減達成。</p> <p>今期は10月のみ目標を超えてしまったが、一年を通してガソリン使用量を抑えられている。来期も同じように使用量を抑えられるよう努める。</p>
・アイドリングストップ		
・急発進・急ブレーキの抑制		
・冷房の控え目使用		
4. ガソリンの削減（製造部）	×	<p>目標：2,391 L（基準年度比△2.0%）            実績：2,420 L            達成率：40.82%            基準年度比0.82%削減達成。</p> <p>今期の目標ガソリン使用量は、車両数との整合性が取れていなかったことにより未達となっている。来期は、目標数値の見直しと更なる電気リフトの使用を増やし、ガソリン使用</p>
・アイドリングストップ		
・急発進急ブレーキ		
・フォークリフト空ふかし禁止		

・屋内でのバッテリーリフト使用頻度の向上		量の軽減に努めていく。
5. 軽油の削減	◎	目標 : 4,358 L (基準年度比△2.0%) 実績 : 2,323 L 達成率 : 2,386.52% 基準年度比 47.76%の削減達成。
・アイドリングストップ		リフトを減らした事による効果にて目標達成。 来期は目標設定の見直しが必要と考える。
・冷房の控え目使用		
・フォークリフトの空ふかし禁止		
・屋内でのバッテリーリフト使用頻度の向上		
6. 産業廃棄物の削減	◎	目標 : 135,633 kg (基準年度比△2.0%) 実績 : 98,949kg 達成率 : 1425.29% 基準年度比 28.51%の削減達成。
・ゴミの分別回収		通期で目標達成ができた。 来期は廃棄量の多い VA135GA 生地の一部ハイペレ投入可能実現を目指し、廃棄量削減に取り組む。再利用出来る様検討し削減に努めていく。
・工程不良品削減		
・必要以上のサンプル手配防止		
7. 一般廃棄物の削減	◎	目標 : 4,707 kg (基準年度比△2.0%) 実績 : 4,072kg 達成率 : 761.46% 基準年度比 15.22%の削減達成。
・ゴミの分別回収		通期目標を達成した。 来期も印刷物等の削減に向けた工夫を継続する。
・コピー紙の裏紙利用		引き続き分別回収の周知徹底を心掛け、書類の簡素化含めペーパーレスに努める
・会議資料や事務書類の簡素化		
・両面印刷の徹底		
8. 節水	×	目標 : 1,088 m <sup>3</sup> (基準年度比△2.0%) 実績 : 1,398 m <sup>3</sup> 達成率 : -1,309.09% 基準年度比 25.95%の増加。
・節水運動		漏水修理工事後は使用量安定しているので早期発見

・節水器具の利用		出来る様、工場周りの日常点検の協力呼びかけ実施。 水洗トイレの自動化で節水は進んでいる状況。
9. LPG の削減	◎	目標 : 129Kg 実績 : 102.47Kg 達成率: 1,082.59% 基準年度比 22.19%の削減達成。  使用量については時期的なものもありますが、節約を心掛け、数値を維持出来る様、監視していきたい。
・LPG 使用量削減目標を朝礼で周知		
・LPG 使用用途の必要性再考		
10. 環境配慮型製品の開発	◎	昨年度に引き続きハイペレを用いたインジェクション試作（枕木）を行った。昨年度と比べて成型時間の短縮、成型品外観の改善等の成果が得られた。次年度は材料の供給面をの効率を高めていく。
・リサイクル材への切替え		
・名刺の再生紙への変更 ・新たな取り組みの考案・模索		
11. 有害化学物質の管理	◎	顧客要求対応、公的機関へのP R T R 届け出等、化学物質は確実な管理ができた。継続していきたい。
・P R T R 法指定化学物質保管量の把握		
・化学物質関連法規の順守 ・顧客規制化学物質含有調査の実施		

### 1 1 . 環境関連法規制等の順守状況（奈良事業本部）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の送風機4台・7.5kw以上の空気圧縮機4台
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機4台
廃棄物処理法	廃プラ（フロアマットプレス抜きロス）、PCB 廃棄物、水銀廃棄物
消防法	指定可燃物貯蔵（製品・仕掛品・原材料）最大数量
フロン排出抑制法	恒温槽1台、チラー2台、空気圧縮機5台
高圧ガス保安法	溶接用ガス（アセチレン・アルゴン・酸素）
下水道法	工場トイレ2ヶ所、営業事務所トイレ2ヶ所
家電リサイクル法	液晶テレビ1台、洗濯機2台、パソコン50台

### 1 2 . 環境関連法規制等順守状況の評価結果（奈良事業本部）

環境関連法規制等の遵守状況の評価結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

また、過去3年間にわたって関係当局からの違反などの指摘はありませんでした。

### 13. 代表者による全体の評価と見直し（奈良事業本部）

概ね達成出来たが、漏水の発見出来ず節水について大きく目標値を未達であった。

日常点検を心掛け早期発見に努めて下さい。コロナウイルス感染症拡大による悪影響は限定的になりつつあるものの、原材料費、エネルギー価格の高騰や円安で今後も厳しい経営環境が懸念される。

このような状況下にあっても、省エネ・CO<sub>2</sub>削減、廃棄物の再使用・再資源化などの社会的課題を解決する取組を今後も継続し、持続可能な循環型社会の実現に貢献していかなければならない。

### 14. 環境経営目標とその実績（天理事業本部）

当事業所における環境経営目標と実績は次の通りです。

年度 項目		年		2022年		2023年	2024年
		2018年 (基準年)		(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
二酸化炭素 排出量		総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	240,998	231,358 (Δ4%)	388,322 (+61.1%)	228,948 (Δ5%)	226,538 (Δ6%)
内 訳	電力 (製造)	使用量 (kWh)	630,215	605,006 (Δ4%)	1,185,203 (+88.1%)	598,704 (Δ5%)	592,402 (Δ6%)
		単位あたり 使用量 (kWh/kg)	34.522	33.141 (Δ4%)	14.186 (Δ58.9%)	32.796 (Δ5%)	32.451 (Δ6%)
	電力 (営業)	使用量 (kWh)	21,350	20,496 (Δ4%)	23,636 (+10.7%)	20,283 (Δ5%)	20,069 (Δ6%)
	軽油	使用量 (L)	712	684 (Δ4%)	931 (+30.8%)	676 (Δ5%)	669 (Δ6%)
	ガソリン	使用量 (L)	4,203	4,035 (Δ4%)	4,153 (Δ1.2%)	3,993 (Δ5%)	3,951 (Δ6%)
	LPG	使用量 (m <sup>3</sup> )	20	19.2 (Δ4%)	112.2 (+461.0%)	19.0 (Δ5%)	18.8 (Δ6%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	6,372	6,117 (Δ4%)	9,818 (+54.1%)	6,053 (Δ5%)	5,990 (Δ6%)
内 訳	産業廃棄物	廃棄量 (kg/年)	6,000	5,760 (Δ4%)	9,000 (+50.0%)	5,700 (Δ5%)	5,640 (Δ6%)
	一般廃棄物	廃棄量 (kg/年)	372	357 (Δ4%)	818 (+119.9%)	353 (Δ5%)	350 (Δ6%)
総排水量		総量 (m <sup>3</sup> )	1,167	1,120 (Δ4%)	1,721 (+47.5%)	1,109 (Δ5%)	1,097 (Δ6%)

電力の変換係数は、2021年関西電力の係数(0.311kg-CO2/kwh※調整後)を用いて算出しました。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進します。

- ①グリーン購入の推進…リサイクル材への切り替え
- ②環境配慮製品の開発…循環材での新規製品の開発

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の目標を含め改定することもあります。

### 15.環境経営活動の取り組み計画と評価(天理事業本部)

「10%以上削減:◎良く出来た」 「5%以上削減:○まあまあ出来た」  
 「1%以上削減:△あまり出来なかった」 「1%未満削減:×全く出来なかった」 「未達:×」

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
1.電力の削減(製造部 他)	×	<b>【使用量】</b> 目標 605,006kWh 実績:1,185,203kWh 達成率:△2,201.55% 基準年度比:88.1%増加 <b>【単位当たり】</b> 目標:33.141kWh/kg 実績:14.186kWh/kg 達成率:1,472.56% 基準年度比:58.9%削減 前年度の生産ライン増設後の生産継続により電力使用量は増えているが、原単位で大幅に達成できた。
・照明のLED化		
・待機電力の削減		
・省エネ対応設備の見直し (冷却エアコンプレッサー→ブローに変更)		
2.電力の削減(営業部 他)	×	目標:20,496kWh 実績:23,636kWh 達成率:△267.68% 基準年度比:10.7%増加 前年と同様にコロナ禍の影響による室内の換気と空調の兼ね合いで空調設備の使用量の影響を受けている。
・省エネ対応設備の見直し		
・クールビズ、ウォームビズ運動		
3.軽油の削減	×	目標:684L 実績:931L 達成率:△782.14% 基準年度比:30.8%増加 工場の電力使用量と同様に生産ライン増設後に継続されている生産活動により、フォークリフトを用いることが増えたことが影響していると考えられる。
・エコドライブ運動展開		
4.ガソリンの削減	△	目標:4,035L 実績:4,153L 達成率:29.76%

<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ運動展開</li> </ul>		<p>基準年度比:1.2%削減 顧客先を訪問する機会が増えてきたことから、社用車を使用する機会が増えたと思われる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い替え時に省エネ対応車購入を検討</li> </ul>		
5.LPGの削減	×	<p>目標:19.2Kg 実績:112.2Kg 達成率:△11,525% 基準年度比:461.0%増加 試験機の使用頻度が上がった影響で使用量が大幅に増えた。担当部署と協議し、今後の目標値設定を検討したい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・節約運動</li> </ul>		
6.産業廃棄物(廃プラ)の削減	×	<p>目標:5,760kg 実績:9,000kg 達成率:△1,250% 基準年度比:50.0%増加 生産量の増加に伴い、廃プラの排出量が増加している影響によると思われる。また、場内の整理を進めたことで不用品の廃棄が増えたことが影響していると思われる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別による社内再利用の見直し検討</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・押出、加工ロス低減(寸法取りの見直し等)</li> </ul>		
7.一般廃棄物の削減	×	<p>目標:357kg 実績:818kg 達成率:△2,973.33% 基準年度比:119.9%増加 前年度と同様に工場の稼働が増えたことにより廃棄物の排出量が増加したと思われる。 今後の推移を観察し、目標値の見直しを検討したい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別、焼却から古紙回収への移行</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールによる印刷コピー削減</li> </ul>		
8.水使用量	×	<p>目標:1,120 m<sup>3</sup> 実績:1,721 m<sup>3</sup> 達成率:△1,178.72% 基準年度比:47.5%増加 生産量の増加に伴い、使用量が増加している。現在の生産量に見合った水使用量を想定し、目標値の見直しを検討したい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水型便器への交換</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クーリングタワーからの水漏れ監視</li> </ul>		
9.グリーン調達	×	<p>改めて調査を実施する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル材への切り替え</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・名刺の再生紙への変更</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン調達品の優先購入</li> </ul>		

## 16.環境関連法規等の順守状況(天理事業本部)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の空気圧縮機及び粉碎機
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機及び粉碎機
廃棄物処理法	廃プラ
消防法	消火ポンプ室(防火水槽)
フロン排出抑制法	業務用空調機
下水道法	事務所及び工場トイレ
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫、洗濯機、パソコン

## 17.環境関連法規制等順守状況の評価結果(天理事業本部)

環境関連法規制等順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

## 18.代表者による全体の評価と見直し(天理事業本部)

昨年から継続して生産量は増加しており、ほとんどの項目で削減目標を達成することができませんでした。

生産量の増加に伴うエネルギー使用量の増加は悪いことではありませんが、このような状況においても取り組めることはあるのではないかと考えます。

目標値を見直すことを視野に入れながらも、今後もこれまでの活動に積極的に取り組み、エネルギー使用量の削減、CO<sup>2</sup>排出量の削減を進めてください。

## 19. 環境経営目標とその実績(栃木事業本部)

当事業所における環境経営目標と実績は次のとおりです。

項目		年度	2018年 (基準年)	2022年		2023年 (目標)
				(目標)	(実績)	
二酸化炭素排出量		総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	52,130	51,087 (△2.0%)	163,592 (+213.8%)	50,827 (△2.5%)
内 訳	電力の省エネ	使用量 (kwh)	80,222	78,618 (△2.0%)	340,044 (+323.9%)	78,216 (△2.5%)
	ガソリンの削減	使用量 (L)	4,641	4,548 (△2.0%)	4,410 (△5.0%)	4,525 (△2.5%)
	※LPGの削減	使用量 (kg/年)	37.90 (2021年)	37.71 (△0.5%)	38.90 (+2.6%)	37.5 (△1.0%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	26,640	26,107 (△2.0%)	38,860 (+45.9%)	25,974 (△2.5%)
内 訳	産業廃棄物	廃棄量 (kg/年)	26,500	25,970 (△2.0%)	38,730 (+46.2%)	25,838 (△2.5%)
	一般廃棄物	廃棄量 (kg/年)	140	137 (△2.0%)	130 (△7.1%)	137 (△2.5%)

総排水量	総量 (m <sup>3</sup> /年)	320	314 (△2.0%)	794 (+148.1%)	312 (△2.5%)
------	---------------------------	-----	----------------	------------------	----------------

電力のCO2変換係数は、2021年東京電力の係数(0.451kg-CO2/kwh※調整後)を用いて算出。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進する。

- ① グリーン購入の推進・・・リサイクル材への切替。
- ② 環境配慮製品の開発・・・循環材での新規製品の開発。

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の目標を含め改訂する事もあります

※LPGについては2018年に実績がない為、2022年を目標として行っております。

## 20. 環境経営活動の取り組み計画（栃木事業本部）

「10%以上削減：◎良く出来た」 「5%以上削減：○まあまあ出来た」

「1%以上削減：△あまり出来なかった」 「1%未満削減：×全く出来なかった」 「未達：-」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
1. 電力の削減	×	目標 : 78,618 kWh 実績 : 340,044 kWh 達成率: 16,198.38%削減 基準年度比: 323.9%増加 自社生産のなかった2018年を基準としており、今期からダクト生産が始まり設備等が本格的に移働したため電力消費が大きく増え達成できなかった。来期は新たに生産が始まった2022年を基準に目標を立て、消費電力の削減に努める
・照明の適正管理		
・不要な照明の消灯		
・冷暖房の適温化		
2. ガソリンの削減	△	目標 : 4,548 L 実績 : 4,410 L 達成率: 248.39%増加 基準年度比: 5%削減 今期のガソリン消費と燃費ともに目標を達成することができた。月別では目標を達成できていない月もあり、来期は全ての月で達成できるように努力する。
・エコドライブの周知徹底		
・定期点検の励行		
3. 産業廃棄物の削減	×	目標 : 25,970 kg 実績 : 38,730 kg 達成率: 2,307.55%削減 基準年度比: 46.2%増加 今期、社内生産が開始され製品ロス、また不具合品の選別などで、産廃量が増え未達であった。来期の実績をもとに基準の見直しを行う。
・異常在庫の分別による社内再利用を推進		



4. 一般廃棄物の削減	×	目標 : 137 kg 実績 : 130 kg 達成率 : 333.33% 基準年度比 : 7.1%削減 今期は何とか目標を達成し削減できた。来期は、客先提出書類以外は裏紙使用、また、記録類は可能な限り出力せず、データとして保管することを推進する。
・ゴミの分別		
・紙の使用量削減（裏紙使用）		
・電子メールによる印刷及びコピーの削減		
5. 節水	×	目標 : 314 m <sup>3</sup> 実績 : 794 m <sup>3</sup> 達成率 : 7,900.00%削減 基準年度比 : 148.1%増加
・節水の周知徹底		
・出退勤時の給水バルブ開閉を励行		社内生産が本格的に始まり、使用量が大きく増えた。来期の実績をもとに基準の見直しを行う。
6. グリーン調達	×	今年度グリーン購入品目を整理し、その購入比率を高めることに努めた。名刺の再生紙変更については次年度以降で全社的に検討する。次年度も環境活動計画に沿って継続的に活動する。
・リサイクル材への切替え		
・名刺の再生紙への変更		
・グリーン調達品の優先購入		
7. 環境に調和した製品開発	×	次年度以降も環境配慮型素材を使用した製品の開発を推進し、顧客に採用して頂けるように、環境活動計画に沿って活動する。
・環境配慮型素材の製品開発		

## 2.1. 環境経営関連法規制等の順守状況（栃木事業所）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の空気圧縮機1台
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機1台
廃棄物処理法	廃棄物
フロン排出抑制法	7.5kw以上の業務用空調機5台、低温恒温恒湿器1台
下水道法	工場トイレ2ヶ所、営業事務所トイレ2ヶ所
家電リサイクル法	洗濯機1台、パソコン20台

## 2.2. 環境経営関連法規制等順守状況の評価結果（栃木事業所）

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

### 23. 代表者による全体の評価と見直し（栃木事業所）

本格的に社内生産が始まり、また目標の基準年が社内生産を行っていない2018年だった為、ガソリンの消費以外は大きく増加し未達であった。

来期は社内生産が本格的に始まった2022年を基準として目標を設定し、新たに削減活動を実施する。

### 24. 代表者による全体の評価と見直し

当社はSDGs、「持続可能な社会」の実現に向けた取り組みの一つとして、エコアクション21の仕組みをベースに環境経営活動を行っているものであり、今後もその重要性はますます高まっている。

エコアクション21の取り組みに関し、これまでは各項目の削減目標に対し比較的順調に達成してきたところであるが、今年度においては目標の未達が多く散見され、残念に思う。

事業活動を行う中では様々な環境変化もあることから、すべての項目で計画通りの削減を実行できないこともあると思うが、その場合でも、未達要因をしっかりと分析し、次に生かす取り組みをお願いしたい。

なお、栃木事業所においては製造ラインが本格稼働するなど、目標設定時からの大きな環境変化も起きている。各事業所において必要に応じ目標設定を見直すことも検討し、また、外的要因に極力左右されずに安定的に環境負荷を削減できる業務の仕組みやフローを確立し、着実に目標達成できるよう取り組みを進めていきたい。

項目	変更の必要性	指示事項
環境経営方針	有	これまでの活動を鑑み、一部内容を変更する。
環境経営目標	有	新たな製造設備の稼働など実施項目の結果に大きく影響する事案があり、基準年度の変更を実施する。
環境経営計画	有	上記理由による計画の見直しを実施する。
実施体制	有	社内組織の変更に伴い、環境経営への取組体制を変更する。
その他	無	

以上